



皆様の声をお聞かせ下さい。ご意見はFAXにて。

ホームページを開設しました。アドレスは <http://www.yasuoka.org/> です。

## 安心して子どもを生むことができる社会をつくりましょう!!

### ～診療報酬改訂決定のお知らせ～

2月13日、厚生労働省の諮問機関(厚生労働省の求めに応じて学識経験者などが審議・調査を行い、意見を答申する機関)である中央社会保険医療協議会(中医協)は、平成20年度の診療報酬改訂について答申を取りまとめました。総額1,500億円を財源に、深刻な医師不足問題に対応するため、産科・小児科医療、病院勤務医の負担軽減、救急医療を改善する等の内容になっています。

産科・小児科は医師の負担が大きいために、深刻な医師不足に陥っています。すでにご周知のとおり最近では、救急車が容態の急変した妊婦さんなどの受け入れ先を探しても、対応できる病院がなかなか見つからないなどの重大な事故も発生しています。特に山村過疎地や離島を多く抱える鹿児島のような地方では、医師不足は大きな問題です。中医協の答申は、こうした深刻な医師不足に対応するために、病院報酬の再診料の増額や緊急搬送された妊婦の受け入れた場合の報酬の上乗せなど病院勤務医の待遇を改善する内容になっています。

これまでも、わたしは、党社会保障制度調査会顧問として、医師不足問題は皆さまのいのちにかかわる重大な問題だという強い危機感をもって、唐澤祥人日本医師会会長、竹嶋康弘同副会長、米盛学鹿児島県医師会会長等と相談しながら、政府・与党と一丸となって取り組んでまいりました。今回の改定は、その大きな成果です。しかし、まだまだ医師不足問題の根本的な解決には至っていません。今後も、地域の医療関係者と相談しながら、女性が安心して子どもを生むことができる社会、わたし達が安心して健康で暮らせる社会をつくるために、全力でがんばってまいります。

## 食の安全の確保

2月8日、自民党輸入食品の安全性に関する緊急対策本部会が開催され、中国産餃子政府調査団の報告を受けました。中国は、中国製冷凍餃子による中毒事件の解決のために協力していく旨を表明し、日本にできる限りの資料提供を約束していますが、未だに原因が判らず、国民の皆さまの食に対する不安・不信が高まっています。

こうした事件は、わたしたちの命にかかわる大きな問題であり、迅速な対応が求められます。内閣府では、現在、国民に対していち早く正確な情報を伝えるために、販売店や保健所、警察、病院等を結ぶネットワークを構築し、再発防止のために輸入時の検査体制の強化を図る等の検討がなされています。

また、食中毒に関係する行政省庁は、厚生労働省や農林水産省、警察庁など様々に分かれており、消費者にとってわかりにくくなっているのも問題です。

わたしは、消費者の皆さまが抱えるトラブルを迅速・的確に解決するために、消費者のクレーム対応や紛争調停の斡旋をする役割を国民生活センターにもたせて、都道府県の消費者苦情処理委員会と密接に連携する仕組みづくりを進めています。また、2月6日には、福田総理が「消費者行政推進会議」を立ち上げ、消費者の立場に立った行政の実現に向けて、一步一步前進しております。

今後も、一日も早く中国製冷凍餃子による中毒事件の解決し、食の安心・安全を実現するために全力でがんばってまいります。

**「政治主導の時代 統治構造改革に取り組んだ30年」～中央公論新社～2100円(税込み)**

**鹿児島の手書店にて好評発売中!!**

※取扱いの書店については、保岡事務所(099-263-8666)までお問合せください。その他にもご質問・ご意見・ご感想などがございましたらご連絡下さい。